

2003年6月16日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8234
 代表者名 取締役会長 奥田 務

2003年5月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	5 月 度	3 ~ 5 月 累 計
百貨店業	5.5	6.3
スーパーマーケット業	3.7	1.3
卸 売 業	10.4	7.4
その他事業	22.2	14.3
連結合計	1.2	3.4

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	5 月 度		3 ~ 5 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	3.0	0.5	4.9	1.7
梅田店	0.6	0.4	0.8	0.1
東京店	4.5	8.9	0.6	3.9
京都店	2.4	2.8	0.5	1.1
山科店	2.0	-	1.2	-
神戸店	1.5	1.8	0.2	0.4
新長田店	5.7	-	4.7	-
須磨店	0.8	-	4.3	-
芦屋店	4.8	-	5.9	-
札幌店	-	-	-	-
直営10店舗計	7.9	-	8.5	-
〃 除く札幌店	1.5	2.6	1.7	1.6
博多大丸	2.2	-	1.0	-
下関大丸	1.9	0.3	0.5	0.7
高知大丸	1.7	0.6	0.8	0.4
今治大丸	1.3	13.3	0.0	13.1
百貨店業合計	5.5 (1.6)	-	6.3 (1.5)	-

(注)・博多大丸は本年3月より長崎大丸と合併したため、対前年増減率は長崎大丸分を含む。

・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸の5店舗計である。

・百貨店合計売上高の()内数値は、除く札幌店の対前年増減率。

2) 札幌店(単位:百万円、千人)

	5 月 度		3 ~ 5 月 累 計	
	合計	入店客数	合計	入店客数
実 績	3,158	2,032	10,659	7,752

(売上動向)

・3月のオープン以来好調に推移。5月は30億円の目標に対して3,158百万円と5.3%増。

・商品別では、食品(特に、和・洋菓子、惣菜、レストラン)及び紳士服飾(キャラクター)が好調。

3) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	5 月 度		3 ~ 5 月 累 計	
	合計	除く札幌店	合計	除く札幌店
紳士服・洋品	12.0	5.6	9.6	1.9
婦人服・洋品	7.6	1.3	8.7	1.1
子供服・洋品	5.5	1.3	6.8	0.2
その他の衣料品	5.5	0.1	8.2	2.3
衣料品計	8.3	0.2	8.7	0.3
身の回り品	6.1	4.5	3.6	7.3
家具	13.3	18.9	6.3	13.5
家電	45.0	45.0	19.0	19.0
その他の家庭用品	14.5	8.4	13.3	6.3
家庭用品計	1.3	4.1	5.2	1.4
食料品	10.2	1.8	14.2	0.7
食堂・喫茶	20.7	7.4	26.4	3.8
雑貨	0.0	5.9	0.4	5.9
サービス	74.1	70.1	43.3	39.2
その他	13.6	0.2	3.4	5.9
合計	7.9	1.5	8.5	1.7

3. 概況

1) 百貨店業

- ・5月の百貨店業全体の売上高は、対前年5.5%増、除く札幌店では、対前年1.6%となった。
- ・店別では、神戸店(対前年1.5%増)と梅田店(0.6%増)が前年売上高を上回った。
神戸店は、昨年3月中旬のそごう改装から一巡し、その影響が反映されなくなったこと。また、梅田店は4月から始めた開店20周年記念の冠催の効果が5月になっても続いたことなどによる。
- ・一方で、東京店、京都店及び心齋橋店の売上高は前年を下回った。特に、東京店は昨年4月中旬に食品と婦人服の売場を改装し、前年の売上高が対前年2.5%増、入店客数が対前年4.9%増となったことの影響が大きい。
- ・紳士服・洋品が、既存店ベースで対前年5.6%増と伸びているのは、ヤング・ヤングアダルトファッションが大きく伸びていることと紳士服2着29,000円セールなど紳士服飾の催しが好調であったことによる。
- ・その他の家庭用品(既存店ベース、対前年8.4%増)は、マイセン展の売上増(約4倍)による。

2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年3.7%であった。
4月は対前年でプラスに転じたが、5月は前年割れとなった。
関西地方(27店舗)は対前年3.1%増であったが、関東地方(38店舗)が同7.0%と不振であった。
- ・その他事業の売上高が、対前年22.2%となっているのは、4月と同様に大丸装工、大丸木工において前年に京都店・東京店等の改装関連売上があった反動による。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR推進部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343